

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I 理念に基づく運営					
I-1. 理念と共有					
1	1	<input type="checkbox"/> ①地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	認知症高齢者を地域全体で支える趣旨により、パンフレットや理念を玄関にかかっている。		
2	2	<input type="checkbox"/> ②理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	スタッフ会議等で利用者主体、外に開かれたグループホーム作りについて話し合い、ケアに活かしている。		
3		<input type="checkbox"/> ③家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	運営推進会議等で区長、並びに地域の方へ話している。また、近隣の方にも話す機会を持っている。		
理念と共有 3項目中 項目					
I-2. 地域との支え合い					
4		<input type="checkbox"/> ①隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りてもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	畑に近所の子供たちが立ち寄り遊んでおり、親子のコミュニケーションの場となっている。10/14に地域の方々の交流を計画している。	○	交流会の前にイモ掘りを親子、利用者と一緒に体験していただいた。
5	3	<input type="checkbox"/> ②地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会、老人会の参加は検討中である。	○	家族会にて、老人会について意見交換を行った。
6		<input type="checkbox"/> ③事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	運営推進会議を通し、悠愛の利用者、また、職員が地域の中で役立つ事がないか、話し合っている。	○	近隣住民との交流会を実施した。
地域とのつきあい 3項目中 項目					

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I-3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	<input type="checkbox"/> ①評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価を全員に取り組んでもらう事により、意識づけをし、悠愛を知り、積極的に関わられる様に努めている。また、昨年の外部評価の指摘事項に対して、改善に努めている。		
8	5	<input type="checkbox"/> ②運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1度、地域の学習センターにて、地域の方(民生委員、区長、知見者、家族代表、行政)とサービスの質の向上に向けて話し合っている。		
9	6	<input type="checkbox"/> ③市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	運営推進会議以外に関わる機会はない。あれば是非参加したい。		
10		<input type="checkbox"/> ④権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	権利擁護や成年後見制度については研修に個々に参加して知識を修得している。現在、対象となる人はいない。		
11		<input type="checkbox"/> ⑤虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	今まで苑内での虐待の事実はなく、職員の言葉遣い等言葉の暴力とならないように職員間で取り組んでいる。また、研修があれば、個々に参加している。		
理念を実践するための制度の理解と活用 5項目中 項目					
I-4. 理念を実践するための体制					
12		<input type="checkbox"/> ①契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	十分な説明を行い、わからない点や不安についてお聞きしている。		
13		<input type="checkbox"/> ②運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	一対一の対応。居室での対話を大切にしている。何でも話せる雰囲気や心を心がけている。また面接時、家族様に話せる様に居室でゆっくりしてもらっている。その後、家族様より意見を聞いている。		
14	7	<input type="checkbox"/> ③家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	各月交互に家族だよりと写真入の行事参加の様子を発行している。金銭管理報告は毎月行っている。		

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
15	8	<input type="checkbox"/> ④運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族会を年に1~2回実施している。その時にご家族様の意見交換をしている。また、家族代表の苦情受け付けの窓口もしている。	○	第3回家族会10月14日(日)に実施、今回は地域との交流会も実施した。
16		<input type="checkbox"/> ⑤運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月に1度、スタッフ会議を行っている。問題発生時にはその都度ミニ会議を行っている。	○	月1度のスタッフ会議は行事の日に行っている。行事の反省もでき、またその日はスタッフの出勤が多い。
17		<input type="checkbox"/> ⑥柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	緊急時やスタッフの体調不良による欠席の場合、なかなか人員を整えるのが難しい時がある。	○	管理者も業務に入り、仕事をしているので、その日の休みの者に依頼している。しかし、その代休はその月には取れず、来月となる。
18	9	<input type="checkbox"/> ⑦職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	異動は今のところない。退職に関しては、ダメージを防ぐように馴染みの利用者にはきちんと説明をし、納得していただいている。	○	退職する理由をきちんと聞いて、改善できる様には努めている。家の都合によるもの、体調によるものは今のところ対処がない。
理念を实践するための体制 7項目中 項目					
I-5. 人材の育成と支援					
19	10	<input type="checkbox"/> ①職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	介護職が初めての方には新人研修の参加を促している。グループホームでのケアや利用者主体の考え方は働きながら指導している。		
20	11	<input type="checkbox"/> ②同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム部会の参加で他の施設との交流を図ったり、悩みや相談をお互いに共有している。		
21		<input type="checkbox"/> ③職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	皆の話には耳を傾けている。勤務上、全員で食事会など無理なので、話せる雰囲気を持てるように努めている。		
22		<input type="checkbox"/> ④向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	各研修の参加で知識を高め、働き甲斐が持てるよう気を配っている。スタッフ同士のトラブルにも気を配り、気の合わないスタッフ同士には勤務上の工夫をしている。		
人材の育成と支援 4項目中 項目					

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
II-1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		<input type="checkbox"/> ①初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	ご家族の家庭環境や現状、それによって与える利用者の負担、また表情や訴えを見逃さないように注意を払っている。	○	ゆっくり、ゆったりとした雰囲気の中で、話しやすい環境を作り、安心して話ができるように努めている。また、1対1の対応に心がけている。
24		<input type="checkbox"/> ②初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	ご家族のおかれている環境、利用者に対する思いをしっかりと受け止められるように努めている。傾聴の姿勢で話を聞いている。	○	介護に対する不安や悩みに関して心を配っている。
25		<input type="checkbox"/> ③初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	グループホームでもあり、他のサービス利用は今のところない。	○	必要であれば対応に努める。
26	12	<input type="checkbox"/> ④馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	緊急性を必要としない場合はおやつの時間帯や夕食、昼食に招き、他の利用者やGHの雰囲気に慣れてもらうようにしている。1週間の体験入所もしている。		
相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 4項目中 項目					
II-2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	<input type="checkbox"/> ①本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	本人を孤立させることのないように、1対1の対応に努め、また、歌やレクリエーションの参加にも心を配っている。	○	不穏時、自室へ戻ってしまう利用者に対し、もう少し関わりを考えていきたい。
28		<input type="checkbox"/> ②本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	面会時、GHの様子を説明させていただき、常に利用者主体のサービスの提供ができるように家族共々支えていけるように努めている。	○	面会の少ない利用者に対し、これからも働きかけていきたい。(ご家族様に)
29		<input type="checkbox"/> ③本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	面会、家族会、受診、行事などの家族参加に努めている。盆、正月の帰省もできる限り帰省して、家族の暖かみを感じてもらえるように努めている。	○	盆、正月の帰省は限られた方となっている。せめて、外出(家族様と)できるように働きかけていきたい。

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
30		<input type="checkbox"/> ④馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている	入所時、出来る限り馴染みの家具や家族の写真を居室へ置いて慣れていただいている。不安な気持ちや寂しさを少しでも和らげられるように努めている。		
31		<input type="checkbox"/> ⑤利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	仲の良い利用者には見守り、トラブルが起こりそうな利用者とは関わりを避けるよう努めている。トラブル発生時には1対1の対応と気分転換にドライブや買物をしている。		
32		<input type="checkbox"/> ⑥関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	退所されたご家族との関わりはあまりない。利用者に関しては移動先の施設を訪問したりして、お元気であるか会いに行っている。		
新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 6項目中 項目					

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
Ⅲ-1. 一人ひとりの把握					
33	14	<input type="checkbox"/> ①思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	一人ひとりの思いを傾聴し、意向を把握するよう努めている。不確かな場合は想像と創造によりケアマネジメントに反映できるようスタッフ間で意見を出し合っている。	○	さらに利用者の思いを傾聴していきたい。
34		<input type="checkbox"/> ②これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	家族から聞き取ったり利用者や個別に昔話等する事により生活史を把握し、馴染みの関係を築くよう努めている。	○	馴染みの暮らし方を継続できるよう付付けていきたい。
35		<input type="checkbox"/> ③暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	24時間記録を行い、生活の流れを全職員が総合的に把握するよう努めている。現状、有する能力等発見があれば共有している。	○	しっかり記録することにより、全職員が利用者の現状を把握できるよう努めたい。
一人ひとりの把握 3項目中 項目					
Ⅲ-2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	<input type="checkbox"/> ①チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人はもちろん、家族にも面会時には意向を聞き取り、担当職員に計画の評価をさせている。	○	職員一人ひとりが課題評価することにより、介護計画を見直していきたい。
37	16	<input type="checkbox"/> ②現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	職員の話し合いにより、必要と判断した時は全員でアセスメントを行い、新たなケアに繋げている。また、家族に現状を報告している。	○	家族と話し合う機会を増やしたい。
38		<input type="checkbox"/> ③個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別のケース記録を記入し、情報を共有している。また、記録を元にアセスメントを行っている。	○	記録の習慣づけを徹底していきたい。
介護計画の作成と見直し 3項目中 項目					
Ⅲ-3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	<input type="checkbox"/> ①事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	家庭的な雰囲気の中でできることをして頂き、自信を持って安心して暮らして頂けるよう、馴染みの職員が入居者のその人らしさを大切に支援している。	○	地域との関わりを増やしていきたい。
多機能性を活かした柔軟な支援 1項目中 項目					

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
		Ⅲ-4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40		<input type="checkbox"/> ①地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	運営推進会議等を通じ、民生委員はじめ地域の人々の協力を要請している。	○	ボランティアの活用を考えていきたい。
41		<input type="checkbox"/> ②他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	他の介護事業者は利用していないが、本人の意向により、希望の散髪屋等を利用してもらっている。	○	本人の意向の聞き取りに努めていきたい。
42		<input type="checkbox"/> ③地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	現在の入居者については地域包括支援センターと協働していないが、新しい入居者の募集に当って支援を仰いでいる。		
43	18	<input type="checkbox"/> ④かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	それぞれにかかりつけ医があり、受診は原則家族をお願いしているが、受診記録のやり取りを通じ、主治医との連携を図っている。	○	初期診療の機会を逃さないように、家族、医療機関との連携をしっかりとしていきたい。
44		<input type="checkbox"/> ⑤認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	認知症の症状に変化があれば職員で話し合った後、専門医の指示を仰いでいる。		
45		<input type="checkbox"/> ⑥看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	看護職はいないので、職員同士が話し合っって医療との連携を図っている。		
46		<input type="checkbox"/> ⑦早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入居者の入院時は管理者、ケアマネ、担当職員等が出来る限り出向き、情報交換し、家族との連絡を密にしている。		
47	19	<input type="checkbox"/> ⑧重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	多くの事例はないが、重度化の際には医療機関、家族との連絡を密にし、スタッフ会議にて本人の状態や家族の意向、介護方針等を共有するようにしている。		

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
48		<input type="checkbox"/> ⑨重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	重度化した入居者がおられた時は日々職員間の話し合いが持たれていたが、現在では特に必要ないので取り組んでいない。	○	今後の変化に備えて検討する機会を持ちたい。
49		<input type="checkbox"/> ⑩住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	情報交換は行っている。		
地域資源との協働 10項目中 項目					

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
IV-1. その人らしい暮らしの支援					
IV-1. (1) 一人ひとりの尊重					
50	20	<input type="checkbox"/> ①プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーに配慮した言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしている	寝室・入浴・記録等各自別々で行っています。	○	記録に関しては書き方が少し異なるところがあるので話し合いたい。
51		<input type="checkbox"/> ②利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	動きに対しては本人の行動を確認し対応。ゆっくり、やさしく、本人にわかるように説明し、自己決定されています。	○	希望に添えるよう、ゆとりを持って接するよう心がける。
52	21	<input type="checkbox"/> ③日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	各自ゆったりと、ホールや居室で過ごされています。歌や体操にも参加されています。	○	一人ひとりにゆったりと接する時間を作るようにしていきたい。
その人らしい暮らしの支援 (1)一人ひとりの尊重 3項目中 項目					
IV-1. (2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		<input type="checkbox"/> ①身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	理容は月1回来てもらっています。なじみの店に行っておられる方もいます。服は自分で選んで着ておられます。季節はずれのときは声かけを行っています。		
54	22	<input type="checkbox"/> ②食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	調理の下ごしらえ、味付け等できる事を一緒に行っています。片付けもADLIに合わせて行って頂いています。	○	下ごしらえをして頂ける方を徐々に増やしていきたい。
55		<input type="checkbox"/> ③本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	おやつは10時は自己決定で飲み物、3時はお好みの手作りおやつを時々作って召し上がられます。	○	日常の関り・会話の中で個々の嗜好の把握をし、献立やおやつに取り入れていきたい。
56		<input type="checkbox"/> ④気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	各自トイレに行かれているが、失禁の人もおられ、トイレ内で清拭を行っています。	○	排泄表を作り、排泄パターンを把握する。
57	23	<input type="checkbox"/> ⑤入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	各自希望の時間に入られています。時間前に声かけ等でスムーズです。毎日、気持ちよく入られています。		

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
58		<input type="checkbox"/> ⑥安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	ソファ等でゆっくり過ごしていただける配慮をしています。居室で休まれる方もおられます。		
その人らしい暮らしの支援 (2)基本的な生活の支援 6項目中 項目					
IV-1. (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	<input type="checkbox"/> ①役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	無理強いせず、あくまで本人のペースに合わせて行ってもらっている。また、行事などを行い楽しんでもらったり、気晴らしにしている。	○	今後も利用者の方を活かした支援をよりしていきたい。
60		<input type="checkbox"/> ②お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金を自己管理出来る方には持っていたらいい。	○	希望があれば、買物などに一緒に行っている。また、もう少し機会を増やしたい。
61	25	<input type="checkbox"/> ③日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩や買物、行事などで戸外に出ている。	○	散歩などは利用者の状態に合わせて行ってもらっている。これからは一人ひとりの希望も取り入れて外出を行ってほしい。
62		<input type="checkbox"/> ④普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	盆帰省やカラオケに出かけたり、家族会を行ったりして対応している。	○	家族の方と関わってもらえるように定期的に家族会を行っている。
63		<input type="checkbox"/> ⑤電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	希望される方がいれば、電話や手紙にて対応している。	○	今後も利用者が家族等と気軽に連絡を取れるように支援していきたい。
64		<input type="checkbox"/> ⑥家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	訪問されたときは本人の居室にて、ゆっくりとした時間を過ごしてもらっている。	○	訪問して下さった時に気持ちが良いように、グループホーム内を常に清潔に保っておく。
その人らしい暮らしの支援 (3)社会的な生活の支援 6項目中 項目					
IV-1. (4) 安心と安全を支える支援					
65		<input type="checkbox"/> ①身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	ADL的に問題がない方が多いため、身体拘束は全くなく支援させてもらっている。	○	身体拘束などを正しく理解するための勉強会を行い、利用者にとって適切な支援を行っていく。

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
66	26	<input type="checkbox"/> ②鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	天気の良い日は窓を開けたり、外に出たりしている。	○	今後もかぎはせず、開放的な空間で生活してもらえるようにする。
67		<input type="checkbox"/> ③利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	常に所在は把握しており、声かけ等で様子を確認している。夜間は巡回や必要に応じてすぐに対応できるようにしている。	○	利用者の様子を職員間で情報交換や申し送りをし、安全な生活をしてもらえるようにしている。
68		<input type="checkbox"/> ④注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	注意の必要なものは必要な時に使用し、使用後は片付けている。また、希望された時はすぐに使用してもらえるように対応している。	○	注意物の保管、管理を職員間で統一していく。
69		<input type="checkbox"/> ⑤事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	職員全員が利用者の状態を把握し、日常生活で必要な対応をし、事故の防止をしている。	○	常時、事故が起こらないように気配りをし、職員も必要な知識を学ぶ必要がある。
70		<input type="checkbox"/> ⑥急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	定期的に消防署の方をふまえての訓練を行ったり、緊急連絡表を作り対応している。	○	適切な初期対応が常時行えるように定期的な訓練を今後も継続して行っていく。
71	27	<input type="checkbox"/> ⑦災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	運営推進会議をし、地域との関わりを持ち、協力して頂けるようにしている。	○	消防署の協力を得て、避難訓練を実施する。
72		<input type="checkbox"/> ⑧リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	病気に関するリスクについては家族等に説明しているが、生活上のリスクについての説明はできていない。	○	利用者の状態などを家族等にまめに連絡し、把握してもらう。
その人らしい暮らしの支援 (4)安心と安全を支える支援 8項目中 項目					
IV-1. (5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		<input type="checkbox"/> ①体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	変化に気づいた際、速やかに対応、情報を提供している。	○	日々、利用者の方の体調を観察し、早期発見につなげていく。

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
74		<input type="checkbox"/> ②服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬のことをしっかり理解し、服薬時も誤薬がないよう再確認している。また、薬の変化があった場合は職員全員に申し送り、状態を記録している。	○	誤薬がないよう再確認しつつ服薬して頂き、何か変化があればすぐに詳しい情報提供していけるように努力していきたい。
75		<input type="checkbox"/> ③便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	便秘にならないよう、飲食物には気をつけている。昼食前等時間があれば体操やレクリエーションにて体を動かしていただいている。	○	入浴時、腹部マッサージを実施したり、便秘にならないよう、日々観察していく。水分を多めに摂って頂く。
76		<input type="checkbox"/> ④口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後、声かけ、見守りにて口腔ケアを実施している。月に1度、歯科往診にて義歯の調整や口腔内の清潔、状態をみてもらっている。	○	誤えん性肺炎にもつながるため、日々口腔ケアの大切さを伝え、毎食おいしく食事を摂取していただけるようつとめていく。
77	28	<input type="checkbox"/> ⑤栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人ひとりの水分量を記録に残している。食物についてはその方に合った状態で摂取していただいている。苦手な物も把握しており、個々に合ったメニューを提供している。	○	管理栄養士不在のため、職員が家庭料理で栄養のバランスを考えている。
78		<input type="checkbox"/> ⑥感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染がないよう日頃より体操等にて利用者の方に体力をつけて頂き予防している。食事前の手洗い、毎食後の口腔ケア、換気を実施している。また、流行し始めた場合は広がらないよう迅速な対応に努めている。	○	流行する前から気をつけて、早期発見、対応につなげていく。
79		<input type="checkbox"/> ⑦食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	日頃より清潔を保つため、消毒等行っている。安全な食材を冷蔵庫で保存している。	○	毎日、まな板・包丁・布巾のハイター消毒を実施し、食中毒予防に努める。
その人らしい暮らしの支援 (5)健康面の支援 7項目中 項目					
IV-2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
IV-2. (1) 居心地のよい環境づくり					
80		<input type="checkbox"/> ①安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関に入って来られても脱ぎやすいようにすのこを敷いている。お客様が来られてもすぐに対応できるようにチャイムを鳴らしている。	○	四季を通して花々を植え、絶えず近隣の方々に和んで頂くようにしていく。
81	29	<input type="checkbox"/> ②居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	常に清潔感を保ち、利用者の方々と掃除をし、家庭的な工夫をしている。		季節に合せた飾り付けをしていきたい。

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
82		<input type="checkbox"/> ③共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	テーブルを置いたり、ソファを置き、気の合った利用者同士で仲良くおしゃべりしている。		
83	30	<input type="checkbox"/> ④居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者の方と家族の方とでお話をして、部屋の飾りをされている。		
84		<input type="checkbox"/> ⑤換気・空調の配慮 気になるにおいや空気の上よみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	お部屋の窓や天窓を開けて換気に努めている。		
生活環境づくり (1)居心地のよい環境づくり 5項目中 項目					
IV-2. (2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		<input type="checkbox"/> ①身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	廊下の隅など、所々にソファを配置し、休憩できるようにしている。トイレ・風呂場には手すりをつけている。		
86		<input type="checkbox"/> ②わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	場所(トイレ、居室)の入り口にはトイレの紙を貼り、居室にも名札をつけている。時計は目の高さになっている。		
87		<input type="checkbox"/> ③建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	ベランダには花を置き、水遣りをしている。天気の良い日や行事ではベランダで食事したり、おやつを食べたりしている。	○	夏は日差しが強く、ベランダ仕様は洗濯物干しとなる。夏でも使用できるような日よけを工夫したい。
生活環境づくり (2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり 3項目中 項目					

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

V. サービスの成果に関する項目		取り組みの成果 (該当する箇所の番号の左横に○印をつけること)
項目		↓○印欄
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所の番号の左横に○印をつけること)
		↓○印欄
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の2/3くらいが <input type="radio"/> ③職員の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の2/3くらいが <input type="radio"/> ③家族等の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

認知症対応の共同生活において、利用者に安心して暮らして頂くため、一人ひとりの思いを傾聴するように職員一同心がけている。その意向を記録やスタッフ会議を通じ、職員が共有し、意見を出し合い、日々の介護に取り入れている。また、利用者一人ひとりがその人らしく暮らせるよう日々の生活の中で現有能力の発見に努めている。さらに、共同生活の中で役割に参加していただく事で自信を持って暮らしていけるよう支援している。健康面では職員一人ひとりが体調の変化に気を配り、早期に医療との連携が実行されるように努めたい。

評価結果整理表

個 別 表	□のチェック項目数
I 理念に基づく運営	
－1. <input type="checkbox"/> 理念と共有	0 項目/3項目
－2. <input type="checkbox"/> 地域との支え合い	0 項目/3項目
－3. <input type="checkbox"/> 理念を実践するための制度の理解と活用	0 項目/5項目
－4. <input type="checkbox"/> 理念を実践するための体制	0 項目/7項目
－5. <input type="checkbox"/> 人材の育成と支援	0 項目/4項目
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	
－1. <input type="checkbox"/> 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	0 項目/4項目
－2. <input type="checkbox"/> 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	0 項目/6項目
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	
－1. <input type="checkbox"/> 一人ひとりの把握	0 項目/3項目
－2. <input type="checkbox"/> 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	0 項目/3項目
－3. <input type="checkbox"/> 多機能性を活かした柔軟な支援	0 項目/1項目
－4. <input type="checkbox"/> 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	0 項目/10項目
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	
IV－1. その人らしい暮らしの支援	
－1. (1) <input type="checkbox"/> 一人ひとりの尊重	0 項目/3項目
－1. (2) <input type="checkbox"/> その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援	0 項目/6項目
－1. (3) <input type="checkbox"/> その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援	0 項目/6項目
－1. (4) <input type="checkbox"/> 安心と安全を支える支援	0 項目/8項目
－1. (5) <input type="checkbox"/> その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援	0 項目/7項目
IV－2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	
－2. (1) <input type="checkbox"/> 居心地のよい環境づくり	0 項目/5項目
－2. (2) <input type="checkbox"/> 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり	0 項目/3項目

総合評価

I 理念に基づく運営 (項目/5項目)について

管理者、職員は理念を共有し、利用者本意のケアを心配なく暮らして頂けるよう心がけている。近隣との付き合いがやや弱く、地域とのギブアンドテイクの関係を作り上げていく事は課題である。また、市町村との連携を図っていく事により、サービスの質の向上を図る必要を感じている。

II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 (項目/2項目)について

職員が個別に利用者に関わることで馴染みの関係を作る努力をしている。また、利用者同士が共に楽しめるレクリエーションを提供するよう配慮している。面会や受診、行事を通じて家族との関わりを持って頂き、継続性が途切れないよう支援している。

III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント (項目/4項目)について

全項目実施されている。しかし、もっとより良いケアマネジメントが出来るよう努力していく必要を感じている。利用者の意向を傾聴し、共有する。記録をしっかりと、スタッフ間で話し合い、家族との話し合いがより良いケアプラン実行につながるように努めたい。特に、地域との関わりは運営推進会議を通じて支援をお願いしているが、行事等を通して少しずつ深めていきたい。また、ボランティアの資源利用は急務である。

IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 (項目/7項目)について

各項目おおむね実施されているが、50, 51, 52, 54, 55, 56等はさらに努力や工夫が出来ると考えられる。利用者の安心感や穏やかな暮らしに直接関わる事なので、さらに細やかな支援が必要である。また、59, 61, 62, 69, 70についても実施されているが、さらなる取り組みが必要と考えている。76口腔ケアにはより力を入れていきたい。

V サービスの成果に関する項目について

認知症の対応については職員一同努力しているが、利用者に100%満足していただいていることはないと思われる。さらに、利用者の思いを考えたアセスメントが必要と考えている。家族はおおむね満足していただいている感じているが、より連絡を密にしていきたい。地域との密着に関してはやや遅れがちであるので、今後少しずつ取り組みを強化していきたい。

☆サービスの質の向上に向けて、取り組む課題と優先順位、具体的な行動の計画

評価年月日： 年 月 日

前回評価年月日： 年 月 日

サービスの質の向上に向け取り組む課題			取り組み期間 (○年○月～ ○年○月まで)	改善に向けた具体的な行動	達成度評価	次期評価実施時期
評価項目番号	優先順位	内容				
4. 5. 6	1	地域や近隣との付き合いがやや手薄である。より地域との連携を図り、利用者の支援につなげたい。	H19/10/1～ H20/9/30	自治会、老人会への参加、地域行事への参加、ボランティアの活用等を促進する。災害時に近隣よりの支援を得るための関係作り等		
17	2	基準ぎりぎりの人員で勤務している。	〃	柔軟な対応のできるマニュアル作り		
48	3	重度化や末期に向けた支援	〃	研修等を通じて重度化や終末期への職員の対応をスキルアップする。		
76	4	誤嚥性肺炎等の予防や脳の活性化	〃	毎食後ごとの口腔ケアの実施と、月1度の歯科往診。		